

進路だより

令和 4 年 1 月 25 日 (火) 発行

出願状況の発表と出願変更について【重要】

先週、お預かりした公立高校への出願書類は、すべて各校へ提出しました。後日、高校から受検票が届きます。推薦の受検票は 1 月 27 日 (木) までに、一般の受検票は 2 月 14 日 (月) までに中学校に届く予定です。学力検査実施日が近くなったらお渡ししますので、それまでは中学校で大切に保管します。

また、明日の 26 日 (水) は、道内公立入学者選抜の出願状況の発表日です。これを受けて、本校では 27 日 (木) から出願変更の受付を開始します。変更を行う場合は、手続きの方法をよくご確認ください。

公立高校の出願変更手続きの流れについて

出願変更は 1 回だけ認められています。詳細は、進路説明会の資料をご覧ください。手続きの流れは、下記のとおりです。

- 1 保護者の方から、担任へ連絡をいただきます。(生徒からの申し出だけでは手続きが始められませんので、ご注意ください)
- 2 保護者の方に来校していただき、生徒と一緒に出願手続き依頼書の訂正を行い、最終確認とします。(時間帯によっては授業を抜けなければならないこともあります。)
- 3 合わせて、出願変更に関わる書類を作成していただきます。
- 4 出願した高校に行っていただき、書類を提出していただきます。手続きを済ませたら、高校から渡された書類を中学校に提出してください。

公立高校が出願変更を受け付ける期間は、1 月 27 日 (木) ~ 2 月 2 日 (水) の 9:00~16:30 です。(最終日は 16:00 まで) そのため、中学校での受付終了は前日の 1 日 (火) 16:00 まで (進路説明会資料の内容から変更) とします。

※出願変更に関わる書類の保護者署名欄は、願書と同一の氏名を署名することになりますので、願書に署名された方が手続きにお越しくください。

※詳しい手続きについては、来校された際にご説明いたします。

※「出願先高校→変更先高校」が「道立→市立」「市立→道立」の場合は、願書を書き直していただきます。
また、入学検定料(入学手数料)の還付手続きを行うため、銀行口座番号や名義等がわかるものをご持参いただきます。

出願変更における注意点

出願変更は、道内の公立高校受検者の権利です。権利ですから、出願変更は自分にとって「利」となる選択であってほしいと考えます。出願変更は、自分の進路実現のために必要な選択でしょうか。気持ちを切り替え、前向きに努力するために必要な選択でしょうか。出願変更をしたから合格しやすくなるというわけではありません。出願変更をした高校に合格して、いざ通ってみたら「思っていたのとは違う」ということも起こるかもしれません。自分で悩んだ末の決断であれば、どのような形であれ、最後は納得できると思いますが、**倍率などを見た一時の感情で決めてしまうのは性急ではないか**と思います。これまで、出願先についてじっくりと考えてきたはずですから、出願変更の判断についてもじっくり考えてほしいと思います。安易な決断をして、後悔してほしくありません。自分の決断に自信と責任をもって行動するためにも、保護者の方や先生とよく相談して決められるとよいと思います。

(1) 倍率について

1.1 倍や 1.2 倍という数字は、各高校の募集人員 (定員) に対して出願者がどの程度いるのかを示しています。しかし、小数第 2 位を四捨五入しているため、注意が必要です。また、募集人員が違う高校の倍率が同じ数字だとしても、実際の人数は異なります。情報 (出願状況) を正しく理解してください。

(2) 推薦選抜について

一般選抜より先に選抜される推薦出願者が存在します。推薦選抜において、合格内定となった人の分だけ入学枠が減少します。また、合格内定とならなかった人は再出願することができます。そのため、最終の出願状況は、3 月 1 日 (火) の再出願後の出願状況の発表までわかりません。

一般入学者選抜における出願変更の可能な場合（出願できる例、できない例）**再掲**

一般選抜に出願した場合、第1志望の学科について当初出願した高校から1度だけ、出願変更する機会が認められています。（一般の場合の出願変更）

出願変更「できる」例	出願変更「できない」例
普通科 ⇒ 普通科・理数科・体育科・ 外国語科・総合学科	普通科 ⇒ 工業科
工業科 ⇒ 工業科・総合学科	普通科 ⇒ 商業科
商業科 ⇒ 商業科・総合学科	工業科 ⇒ 普通科
理数科 ⇒ 理数科・普通科・総合学科	商業科 ⇒ 普通科
外国語科 ⇒ 外国語科・普通科・総合学科	工業科 ⇒ 商業科
総合学科 ⇒ 他の学科・総合学科	体育科 ⇒ 理数科
(他の学科 ⇒ 総合学科)	全日制 ⇒ 定時制

出願変更の場合の願書・入学検定料（入学手数料）の扱い

	願書の提出	入学検定料（入学手数料）
道立→道立	不要	不要（出願変更、再出願ともに）
道立→市立	新たに提出	必要（出願変更の場合は還付されるが、再出願の場合は還付されない） ※新たに支払いが必要となり、銀行振込となります。
市立→道立	新たに提出	必要（出願変更の場合は還付されるが、再出願の場合は還付されない） ※新たに支払いが必要となり、収入証紙を購入していただきます。
市立→市立	不要	不要（出願変更、再出願ともに）

※推薦選抜において、合格内定とならなかった場合は、一般受検に出願することができます。これを再出願といいます。

新型コロナウイルス感染防止のための注意事項 北海道教育委員会（1月現在）

北海道教育委員会から、道内の公立高校を受検するにあたり、新型コロナウイルス感染防止のための注意事項について通知が届きました。詳しくは、別紙をご覧ください。生徒のみなさんに心がけてほしいこと、保護者の皆様に家庭内で心がけてほしいことについて、いくつかの項目が挙げられています。私立高校を受験する際にも共通する内容ですし、普段の生活でも気を付けたいところですので、よく読み、各自が自分を守る行動を心がけてほしいと思います。

また、受検を認められない場合や濃厚接触者に特定された場合の対応などについても記載がありますので、こちらもよく読んでおいてください。学力検査及び面接で受検を認められない場合、追検査を受検することができます。推薦選抜では、高校との協議となります。発熱・咳等の症状がある場合は中学校に連絡するとともに、医療機関での受診や追検査の受検を検討する必要も考えられます。受検の判断に迷う場合、また、日常生活での自身の体調を確認する場合は、別紙「健康状態チェックリスト」を活用してみてください。

服装や持ち物の準備について

今年度、公立高校の下見は実施しません。 ですから、事前に、検査時の自分の座席がわからない可能性があります。席が暖房器具に近ければ暑いですし、廊下側にあればひんやりとします。また、検査室の換気のために窓の開放等を行う時間帯もあることから、**温度調節の可能な服装を準備**しておいてください。学力検査中に上着を着用したり、ひざかけを使用したりすることは可能ですが、**「文字が入っていない」ことが条件**となります。

持ち物については、進路説明会資料に記載の「受検者の持参すべきもの」を参考に用意しておいてください。計算機、携帯電話、辞書機能付時計、ウェアラブル端末（スマートウォッチなど）等、学力検査の公正を損なうおそれのあるものの持込みは認められていません。さらに、**漢字や英単語が書いてある文房具やティッシュ等も持ち込まない**よう徹底してほしいと公立高校から要望を受けていますので、注意してください。

何か不明な点等ありましたら、担任または進路担当（田口）へご連絡ください。